




さく：036／え：りゅうぢ



このまちのかたすみに、
●●●くんという、
きんじょのにんきものがいました。
●●●くんは、
いつもまわりをたのしませて、
ニコニコしていました。

ところがあるひ、
ほんをよんでいると
そのほんのあいだから、
キラキラとかがやく
いちまいのかみが
とびだしてきました。



フッフ
きみはほんとうに このまちのにんきものなのかい？
ほんとうにそうなら きみをためしてみようだんす
チャレンジしてみるだんすね？
さあいまからそとにでて あらわれるわるいやつらを
たのませて いいやつにかえるんだんす。
いいだんすね。

かめんのおじさん へっぴり・だめんず



●●●くんはいいました。
「よーし！ わるいやつらを
いいやつにかえてやるぞー！」





●●●くんはすぐにそとにでて
はしりだしました。



めのまえには
ながーいながーいさかがあり、
ひっしりにかけあがりました。



さかをのぼりきったとき、
●●●くんのめのまえに、
おおきなおきなきょうりゅうが
たちはだかりました。



「へっへっへー！ ぼくはわるいきょうりゅうだあー！
いますぐさかをくだって、おうちにかえらないと
●●●くんをたべちゃうぞー！」
きょうりゅうは、わるいめつきでこちらをにらみ
いますぐにでも●●●くんをたべちゃいそうなふんいきです。



「よーし！ ぜったい たのしませてやる！」
●●●くんは、そういきこんで
さいこうのえがおを
きょうりゅうにみせました



●●●くんの

スゴイ笑顔！



するときよりゆうは、
いままでのこわいこわいかが
あっというまに
すてきすてきなえがおに
かわりました。



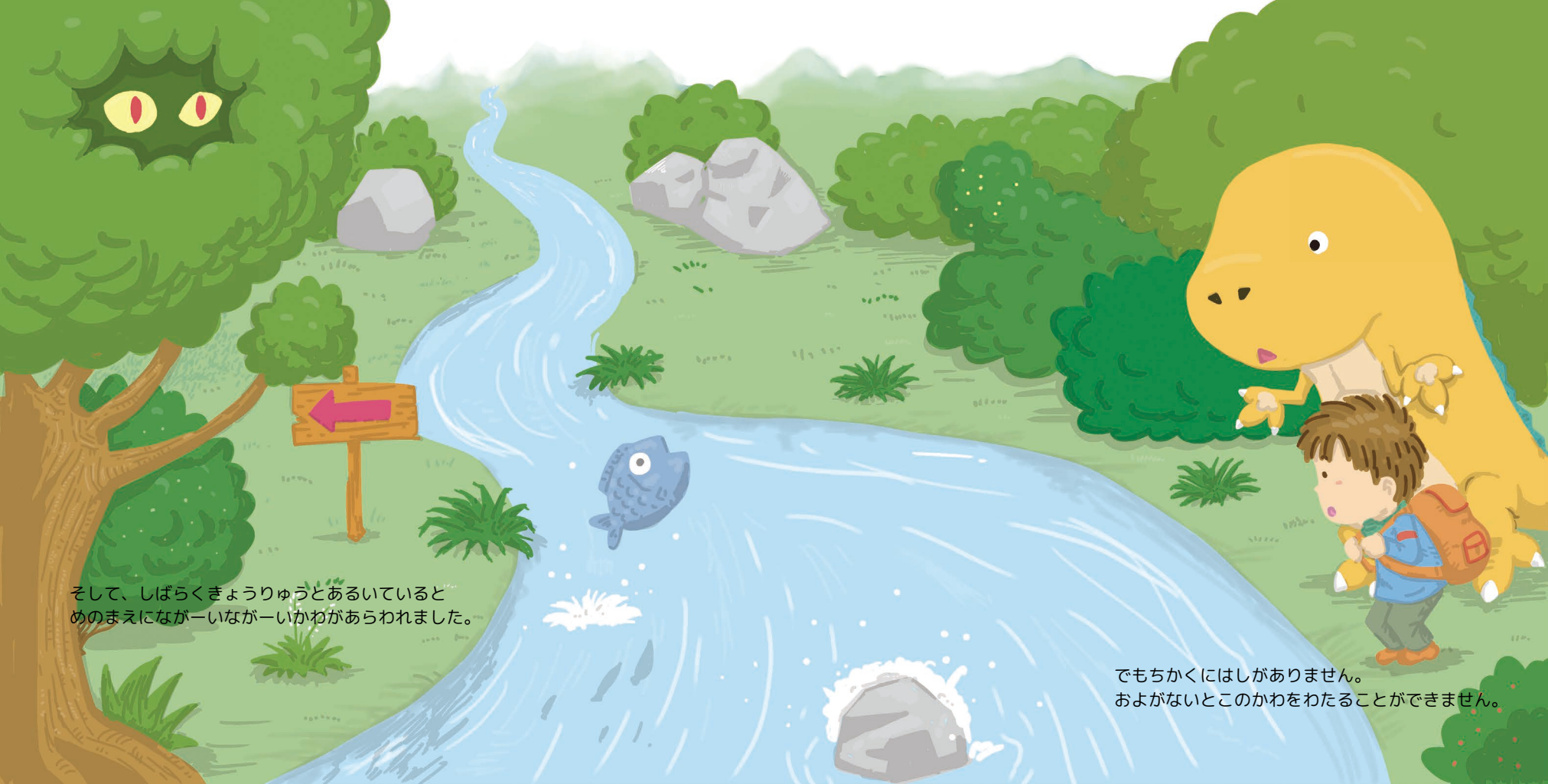
「あっ きょうりゅうさんが
いいやつにかわったぞ！」
●●●くんはこころのなかで
さげびました。



「じゃましてごめんね！
ほんとはね ●●●くんと
なかよくなりたい
だけなんだ！」



「よーし！ じゃあ いっしょに
もっとたくさんの
わるいやつを
いいやつにかえよう！」
●●●くんはそうって、
きょうりゅうといっしょに、
このみちをすすむことに
しました。」



そして、しばらくきょうりゅうとあるいていると
めのまえにながーいながーいかわがあらわれました。

でもちかくにはしがありません。
およがないとこのかわをわたるできません。



そのとききょうりゅうが、
かわになかにはいり
「ぼくのせなかにのるんだ！」
そういいました



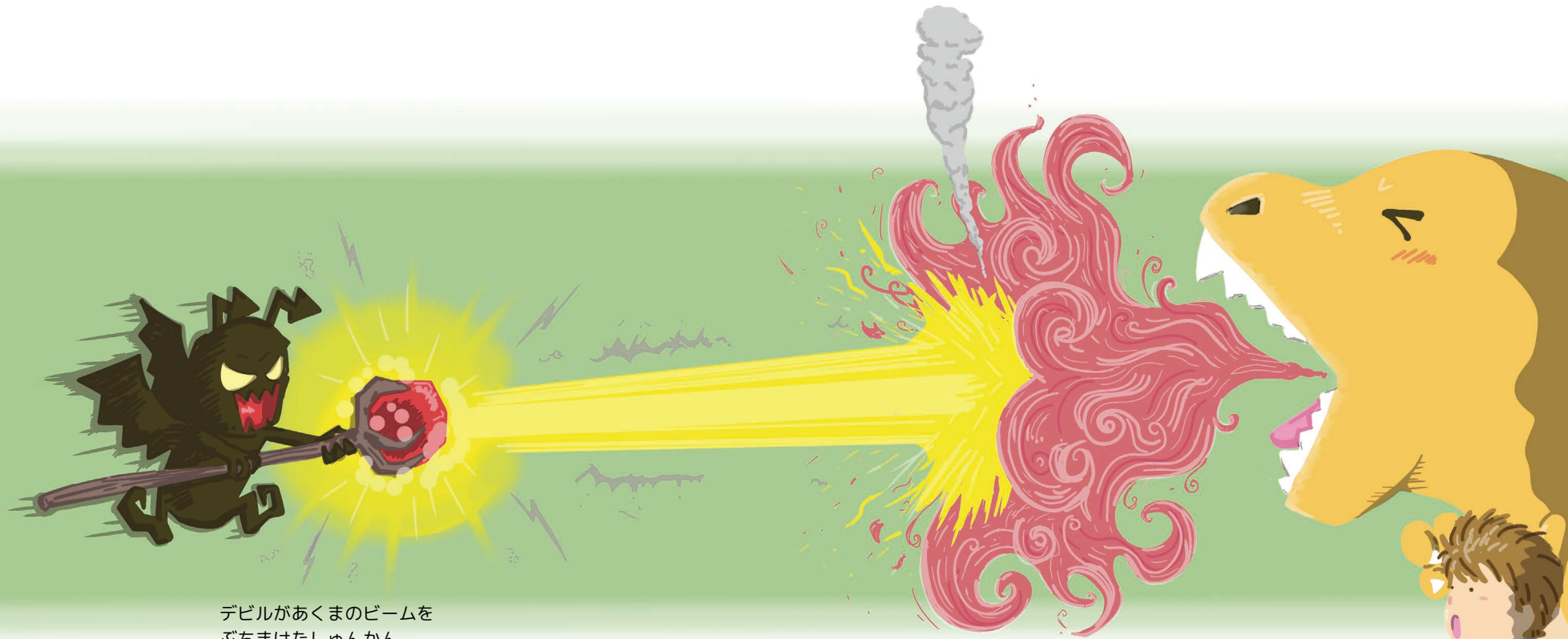
●●●くんは、
きょうりゅうのせなかにとびのり
きょうりゅうが
かわをつきすすみ
かわをわたることが
できました
きょうりゅうを
いいやつにすることができたから
かわをわたることが
できたのです。



かわをわたってあんしんしていると
めのまえにとつぜんデビルがあらわれました



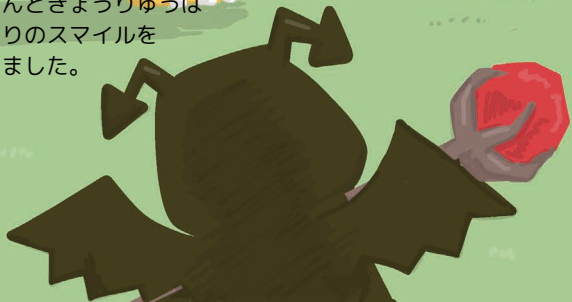
「このやろー！
なかなかしぶといじゃないか！
ゆうきがあることは
みとめるよ！
でもここまでだ！
あくまのビームを
ぶちまけてやる！
くあつくあつくあつ！」



デビルがあくまのビームを
ぶちまけたしゅんかん
きょうりゅうが
くちからひをふき、
あくまのビームを
やきつくしました。



そして、
●●●くんときょうりゅうは
とびっきりのスマイルを
ふりまきました。



●●●ときょうりゅうの

スマイル

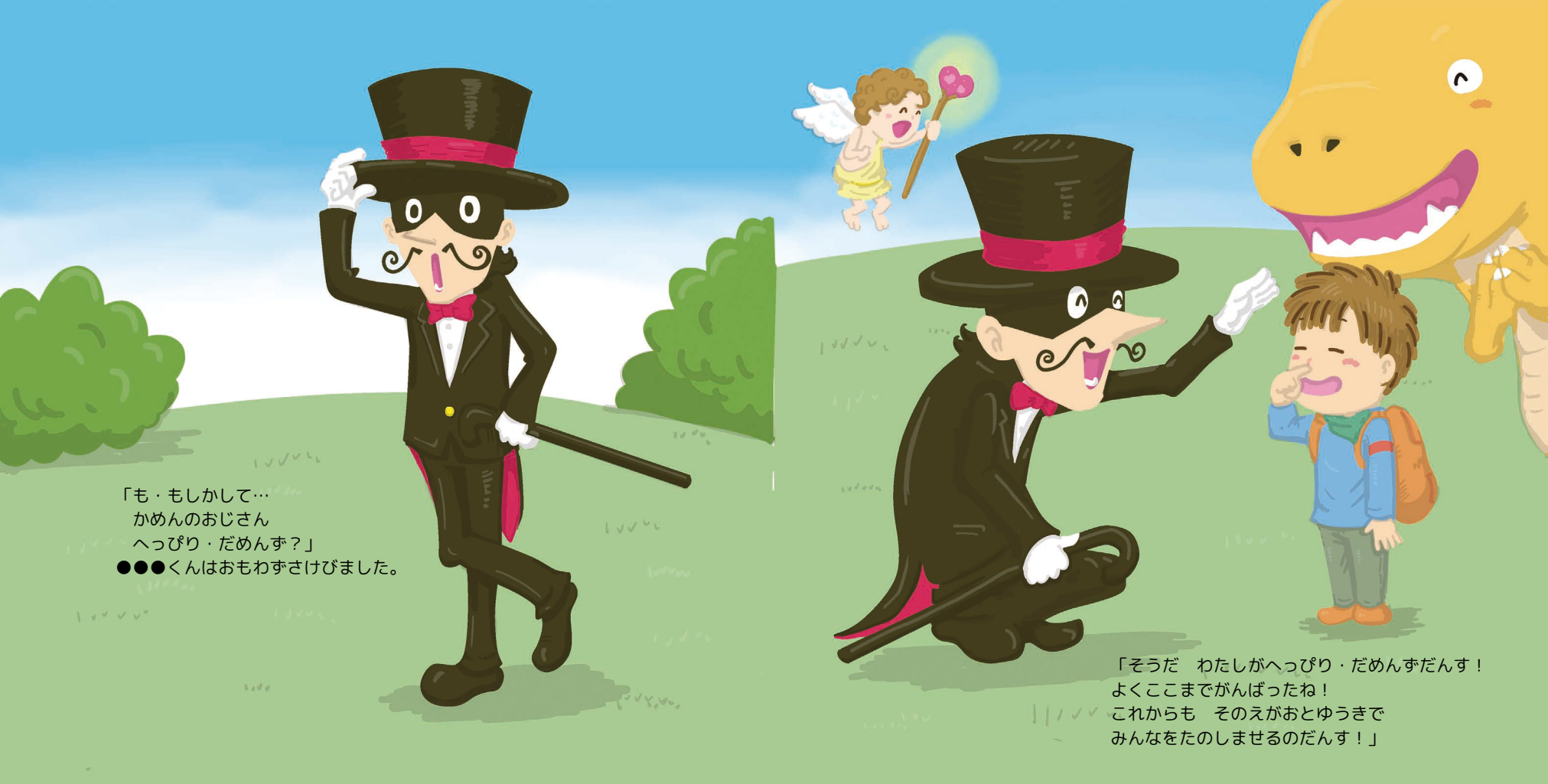
スマイル!



するとデビルは、
エンジェルにへんしんし、
さいこうのえがおで
あたりいったいを、
かがやくひかりで
つつみこみました。



するとそこに、
かめんをつけたひとが
あらわれました。



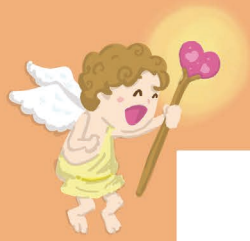
「も・もしかして…
かめんのおじさん
へっぴり・だめんず？」
●●●くんはおもわずさげびました。

「そうだ わたしがへっぴり・だめんずだんす！
よくここまでがんばったね！
これからも そのえがおとゆうきで
みんなをたのしませるのだんす！」



そして、●●●くん、
きょうりゅう、エンジェル、へっぴり・だめんず
みんなでえがおになり、

このまちを
えがおあふれるまちに
したのでした。



きみはみんなのにんきもの

作／036 絵／りゅうぢ

発行：キミとワタシの物語

〒534-0023

大阪市都島区都島南通 1-3-16 らく楽自費出版工房

《TEL》0120-333-035 / 06-6753-9958

《URL》<https://>

印刷：株式会社イシダ印刷